

Enjoy!!ティーボール徳島大会 2023

どか点ウィズティーボール競技の約束（ルール）

1 目 標

- (1) 笑顔いっぱいティーボールを通して、外遊びのおもしろさを体感する。
- (2) ティーボールを通して、打つ、走る、捕る、投げるという運動の基本動作を楽しく学ぶ。
- (3) ティーボールを通して、人との関わり方を学び、社会性を養う。
- (4) ティーボールを通して、支える人たちへの感謝の気持ちを育む。

2 競技場（競技図参照）

- (1) 塁間の距離は、14mとする。
- (2) 塁はベースとする。ただし、触塁はしないで内野マーカースと外野マーカースの間を走る。
- (3) 本塁、バッターズサークル（安全確保）は、本塁プレートを基点の半径1.5mに円を描くようにラインを引く。
- (4) 本塁は、本塁プレート上またはその位置に置いたバッティングティー台とする。
- (5) 打者は、ボールを打った後、走者として各塁を順番に進塁し、一塁（1点）・二塁（2点）・三塁（3点）へと回り、本塁（4点）に戻ったら、2周目に入り、更

に一塁（5点）・二塁（6点）・三塁（7点）へと回った塁により得点が認められる。ベース間の逆走は認めない。

守備側のチームは、打球処理をして、打者走者が進塁する塁へ走者より早くボールを送球するかまたは直接ベース踏むと走者はアウトとなり、進塁することができない。

（6）バッティングティー後方5mに、攻撃側ベンチの安全ラインを引く。

3 約 束

（1）打者は、思いきりボールを打つ。三振アウトなし。

（2）打者は、打った後、バットをフープかコーンの中に入れて走る。

（3）打者走者は、多くの得点を得るため、次の塁ベースを目指してしっかり走る。

（4）守備者は、打ったボールを捕るために動く。守備者は「オーケー」とか「まかせた」などと声を出して捕りに行く。

（5）ボールを捕った選手は、打者走者が進塁しようとしているベースに素早く返球する。

（6）指導者と打者チームの全員は、打者走者が一塁ベースを回ったら「1点」、二塁なら「2点」、三塁なら「3点」、本塁（バッターズサークル）を超えたなら「4点」、それでも返球されない場合には、2周目で一塁を回ったら「5点」と大きい声で打者走

者の得点を数える。審判員（ティーボール・ティーチャー）はこれを確認し、その打者の得点を決定する。

（7）打者チームの全選手は、バッティングティー後方5mの打者チームのベンチライン（安全ライン）後方で応援する。

（8）内野手は4名～5名とする。外野手は3名～4名とする。なお、守備選手は対戦チームと同数とする。

（9）大人の競技者は3名以内とし、両チームの選手数は同数でなければならない。大人3名は、常時出場し、本塁手、1塁手、2塁手、3塁手のいずれかの守備に入らなければならない。

4 用 具

- （1）バッティングティー台1本、塁ベース4枚、マーカー20枚。
- （2）ボール（11インチインドア用ティーボール・オレンジ）2個
- （3）バット（S、Mサイズ）
- （4）フープまたはコーン1個（打者がバットを入れる場所）※約束2
- （5）ビブス（打順に合わせて付ける）
- （6）用具は、日本ティーボール協会公認用具とする。



